



# 磐田南 定時制だより 第1号

令和5年7月4日発行

## I 教頭より

### ワークモチベーションのある職場

教頭 仲村 修也

私は、初任の西部養護学校（現西部特別支援学校）から浜松東高校、袋井市立袋井南中学校、磐田西高校、静岡県立中央図書館と様々な種類の学校や行政の仕事をしてきました。それぞれの場所では色々な人々との出会いや新しい学びがあると同時に、それまで身につけた知識や技術が通用しなかったり、自分の考え方を見つめ直さなければならなかったりと、悩むことも多い日々でした。それでも教員生活は充実していましたので、定時制高校に決まった時はまた新しい出会いがあることに期待しました。そして、赴任して3か月が過ぎた中で思うことは、この磐田南高校定時制に赴任させてもらったことに感謝しているということです。なぜなら、この学校は生徒のみなさんに対する支援体制がどの学校よりも群を抜いて整っているからです。では、支援体制って何かというと次のようなことです。

- ①外国語支援員（袴田様・堀様）が週3日も来てくださること。
- ②外国語のスクールカウンセラー（ヴァンデル様）が週1回来てくださること。
- ③日本語支援の講師（東海道シグマ様）が週1回来てくださること。
- ④スクールカウンセラー（上村様）とスクールソーシャルワーカー（鈴木様）の方がそれぞれ週1回来てくださること。
- ⑤ソーシャルスキルトレーニング講師（鈴木様）が約週1回来てくださること。
- ⑥教師全員が担任や養護教諭で、それぞれが秀でた特性をもち、自分のクラスはもちろん全生徒のためにその特性を活かそうと毎日頑張ってくさだっていること。

静岡県内の夜間定時制において、①～⑥をすべて備えている学校はこの磐田南高校定時制だけと言えるでしょう。なぜなら、私が副校長教頭会などに出席するたびに各学校の先生方と話をする中で、これ以上の支援体制がある学校が見当たらないからです。これは、磐田南高校定時制が県の教育委員会に好かれているからではなく、これまでこの定時制に関わった先生方が、県の教育委員会や磐田市など様々な機関に依頼して働きかけてきた結果なのです。その分先生方の仕事量が増えるのですが、それなのに⑥のような姿勢で毎日頑張っているんです。だから、私がこの学校に来て何よりも嬉しいのは⑥のような先生方と出会えたことなのです。目の前にいる生徒や学校が抱える問題に一生懸命向き合っ、少しでも良い方向に進んでいきたいという思いが毎日ようにビリビリと感じています。一生懸命になるからこそ、時には意見がぶつかり合うこともありますが、それぞれが思いを伝え合えながら仕事をできることに喜びを感じています。簡単に言うと、この学校の先生方と青春を送ることができているのです。青春って、夢を抱いてひたむきに進んだり、友達と語り合ったり、時には喧嘩したり、独りでとことん悩んで落ち込んだり、それでも次の日に苦しくても一歩踏み出したり、とにかく毎日がおちゃおちゃしていながらも日々を一生懸命生きることなのかなと思います。みなさんもそのような毎日を送っているのではないですか。そうならば、先生もみなさんも似た者同士ですね。でも、私はこの現状に満足していません。もっとできることがあるのではないかと思います。実際、研修に参加して他県の様子を聞くと、静岡県はまだまだと思うことがたくさんあります。どうせ毎日生きるのなら、結果に縛られず、自分から少しでも進んでみようと思います。能力もないくせに、大口をたたいて（偉そうなことを言って）、背水の陣（はいすい じん）（一歩も退くことの出来ない絶体絶命の状況・立場）で進むのが、私なりの生き方です。みなさんも、それぞれのやり方で頑張っていることでしょう。貴重な高校生活、五里霧中（ごりもろもろ）（深い霧の中で方角がわからなくなってしまうこと。手さぐりで進むこと）の日々もあるかもしれないですが、四苦八苦、右往左往しながらでも一緒に一歩ずつ進んでいきましょう。

## 2 各学年の先生より

「可愛い子」も還暦か・・・

4年2組担任 鈴木 隆明

「こりゃ、とんでもない新人がきたものだ」私の教員一年目はめちゃくちゃで、校長、教頭、先輩教員、誰かしらに毎日、叱られていた。笑われていた。呆れられていた。やることなすこと失敗ばかりで、あげくに常識がなかった。(ヒッチハイクして下宿先から学校に行った事は今も同期にネタにされるが何が問題か!!) たしかに、学生時代に理想として思い描いていた教育活動をやろうとしても、ことごとく失敗して、それじゃ全然ダメだと思い知らされた。社会の壁に跳ね返された。

春先には、「さわやか先生」だの「若大将」だのと煽てられていい気になっていたが、秋にはすっかり自信がなくなっていた。いや、あの時は「それでも俺は間違っていない」と内心は思っていただろうから、反省した振りをしていた、というのが事実に近い。現実との乖離がやりきれなかった。夜になると、若い先生と飲み歩いて、ストレス発散ばかりしていた。つける薬はない。

社会科の先生は他に5人、皆、50代の方ばかりで、私を可愛がってくれた。その中の一人、A先生が、僕の“昼間”の教育担当で、教科指導から生徒指導まで、初歩からいろいろ手ほどきしてくれた。社会科準備室に「社会科はどういう新人の育て方をしているんだ!」と抗議がたびたびあったことは知っている。時々、A先生から説教されて、

『今のあなたはこれしかできないのだから、「ごめんなさい」と言うしかないよね。一生懸命にやって、それで皆に理解してもらうしかない』などと激励された?

生徒課長のB先生の理にかなった生徒指導は尊敬できた。その先生が毎夜、私を電話でカウンセリングしてくれた。いつも、私の味方だった。私の考えに賛成し、私の意見を採用してくれた。そう、私の“放課後”の指導教官だった。

兄貴分と慕っていたC先生は有能で、私とはよく比較された。私は職場でたびたび咬ませ犬にされたものだが、B先生曰く、

「Cは常に安定して80点の成績を取る。おまえは0点か120点かの仕事をする。Cは仕事の要領もいいし、人間関係もうまい。でも、それでいいとは思わない。おまえも頑張り!」僕にはとてもC先生のような器用さはなかったが、その一言で、「ダメな僕でもなんとかなる」と勇気をもらえた。

2年目、僕は生徒会顧問になった。つまらなかった学校祭を改革したいと思った。元生徒会顧問のA先生の助言を得ながらも、わがまま放題言って、強情張って、学校祭1日目は校内発表に変え、落語教室と校内のど自慢大会を行った。落語教室は、切り絵とか新作落語(三遊亭円丈)で大笑い。“すみや”運営ののど自慢大会では、日ごろ可愛がってきた悪ガキ達がたくさん出場してくれて大変な盛り上がりだった。「やったぜ!!」と嬉しくなった。終了後、体育館の片付けをしていると、生徒課長のB先生が声をかけてくれた。「隆明さん!」と呼んでくれた。そして、がっちり熱い握手をした。社会人になって初めての成功、初めての感激、あの日の握手は一生忘れられない。職員室に戻ると、「能ある鷹は爪を隠す」と誰かに茶化され皆から大爆笑されたが、それって褒められたんだよね?翌年(教員3年目)、全教員による選挙でC先生とともに、私は若手代表の学校運営委員に選ばれた。

数年後(5年間勤務)、私の転勤が決まった。ホテルで開かれた職員送別会、お別れの挨拶をする私の目は、壇上からA先生と生徒課長のB先生の居場所を追っていた。A先生には最後までいろいろと心配された。

「あなたは〇〇なんだから、転勤しても〇〇やっちゃいけないよ。〇〇に気を付けて。しっかりやるんだよ」とか。もうすっかり父親みたいな存在だから。ありがたい。そして、探しても探しても、この日はなぜか避けられてしまっていた生徒課長のB先生に、式の終了間際にやっとご挨拶ができた時、一言、淡々と言われた。「可愛い子には旅をさせろ、だよ」と。

この春、巣立っていく4年生の皆さんへ、時期的にはずいぶん早いですが、進路の季節です。学校という後ろ盾や保護者からの巣立ちの時、私からの贈る言葉が、まさにその一言である。健闘を祈る!

三修制の生徒にとっては、「卒業学年」。四修制の生徒にとっては、4年間の「高校生活の折り返しを過ぎ、後半戦に突入」したところである。

授業は合同クラスで一緒に受けているものの、別々のクラス集団であるため、何となく国境みたいに境界線が引けてしまうのかなと少し案じていた。ところがどっこい全然そんなことはなく、相も変わらず少し雑然とした、和やかな雰囲気の中での学校生活という様相である。

30人の個によってひとつの集団が形成され、その集団によって個が支援される。個と集団（全体）が互いに反射し合って、ダイヤモンドのような輝きを発していけるよう見守っていきたい。

三修制の生徒はすでに三者面談も完了し、進路決定のゴールテープに向けて最終コーナーに入ったところ。進路に関して何気なく声かけして返ってくる君たちからの言葉や表情に、今までにない心根の確かさだとか、おとなに向けて歩みつつある頼もしさが感じられる時がある。周りからの支援を追い風にして、自分の人生を切り開いていけるはずであると期待しています。

四修制の生徒は、三修制の生徒には経験のできない最上級生としての重責が1年後に待ち受けている。当たり前前を、当たり前前。まずは生活全般に根をしっかりと張り、実り多き高校生活となるよう、精力的に個を高めていってほしいものです。

君たちの大切な青春が、次のステージに確と引き継ぐことができるように、今、この舞台を整えていきたいと思う。



新校舎HR教室から富士見町方面を望む（夏至の日に）

What competency do you need to thrive?

～AIに負けないためには？～

2年1組担任 村田 紗季

マッキンゼー社の調査『未来の日本の働き方』によると、「2030年までに既存業務のうち27%が自動化され、結果1660万人の雇用が代替される可能性がある」と言われています。例えば、Siriやアレクサ、Youtubeで表示されるあなたへのおすすめ動画など、意外と身近にAIが使われています。また、今年の3月には、Chat GPTを含むAIチャットボットの台頭に対して、アメリカのイーロン・マスク氏ら1000人以上のテクノロジーリーダーと研究者が、AIの研究所に最先端のシステムの開発を一時停止するよう促しました。その中でイーロン・マスク氏は、AIツールが「社会と人類に深刻なリスク」をもたらすと公開書簡で警告しました。

このように、AI活用の波が今後一層進んでいくのは確実です。では、人間がAIに勝る力は何でしょうか？それは、情報を活用して新たな価値を生み出したり、状況や課題、他者の感情を推し量りながらそれに応じた対応をとったりできることです。AIは、与えられた膨大なデータを蓄積・分析し、その中から条件に合った答えを素早く導き出すことはできますが、新たな考えを生み出すことが苦手です。また、人の感情を推し量る技術はまだまだ発展途中であり、人間と同じようになることはないでしょう。だからこそ、学校生活やアルバイトなどを通して多様な人と関わる場を大切にしてほしいです。その中で、みなさんが他者を思いやりながら協力する力を身につけ、AIと共存しながら充実した生活を送ることができる人になることを期待しています。

## 初心を忘れずに

1年2組担任 沼野 幹彦

1年生が入学してまもなく3か月になります。夏休みを目前にして、彼らの胸中は如何ばかりでしょうか。その前には期末テストがあるのでしっかりと学生の本分を果たしてもらいたいものです。

この3か月の様子を振り返ると、学校へ来るのが楽しいという気持ちが溢れているように感じます。中学では登校できなかった生徒が、無遅刻・無欠席でがんばっていたり、日本語の理解が不十分で勉強についていけなかった生徒が、日本語支援を受けるため、始業前に来て一生懸命に取り組んでいた姿が見られます。また、授業が終わった後の30分ほどしかできない部活動でバドミントンやバスケットボール、陸上の練習、音楽活動を仲間と共に励むなど、限られた時間の中でも彼らは懸命に、そして楽しそうに活動しています。

定時制の4年間は長く、時として他のことに目を奪われ、道を外れてしまうこともあるかもしれませんが、高校生活をスタートさせた時の気持ちを忘れずに、卒業という最終目標を目指してがんばってほしいと思います。私たちもできうる限りのサポートをしていきたいと思います。

## 4 保健室より

### カウンセリングを生活に生かしてみませんか？

保健室 老川 晴代

生活していく上で大なり小なりの悩みは出てくるものです。

わかってはいるけれど、なかなか自分のことになると気持ちに折り合いをつけることが難しくなってしまうことが多々あります。「折り合い」とは、交渉の場面では「互いに譲り合い納得できる妥協点」を見つけることを意味します。人間関係で使う場合は、「関係性をまとめる。調節する」ということでしょうか。

つまり、折り合いをつけるということは「妥協する」必要があるということです。

自分と他の人は、別々の人格を形成し、お互いの価値観も違います。そこに、折り合いをつけることの難しさが生まれる可能性もあります。

私は「〇〇〇がいいな」と思っても、相手は「(別の) △△△がいいな」と……。困ってしまったときには、どうすればよいのでしょうか？別に誰も悪いわけでもないし、何か問題があるわけでもないけど、モヤモヤする……。

自分の今の気持ちを誰かにわかってもらいたい(聞いてもらいたい)時にカウンセリングを受けてみることも、一つの方法なのかもしれません。

カウンセリングを受けるメリットは

1. しっかり話を聞いてもらえる
2. (自分が) 気がつかないことに気づく
3. 問題を整理できる
4. 安心感が得られる

・・・など

カウンセラーの先生は、上村先生(日本語) バンデル先生(ポルトガル語)です。カウンセリング時間に語られた内容は周囲に知られることはありません。カウンセラーの先生に守秘義務(職務上知った秘密を守る)があるからです。

追伸：カウンセラーの先生が悩み・困ったことを解決してくださるわけではありません。解決するのはあなた自身です。

カウンセリング希望がある場合は、学校(老川)まで申し込みをしてください。

## 5 生徒の言葉

4年1組 土川 聖

4年間の学校生活が残り8か月となりました。時間が過ぎてあっという間に4年生になってから、最上級生という実感があまりありませんが、残りの学校生活を大事にしなきゃいけないと思っています。今学校では進路の話が中心になっていますが、僕は就職を希望しています。進学も考えました。でも、学校が終わってから学費などを稼ぐアルバイト生活を送るのは厳しいので、就職して頑張ろうと思います。7月には求人票が配布されるので、自分に合った就職先を真剣に探したいです。卒業に向けては、残りの学校生活をクラスの人たちとの時間を大切にして、特に学校行事で交流を深めていこうと思っています。卒業したら、就職先ではまた新しい人間関係を築いていくことが大事だと考えるからです。あと、今までやり残してきたことがたくさんあると思うので、もう一度それらを見つめ直し学校生活を充実させたいです。とにかく今の時間を無駄にしないで、希望の就職先を見つけられるよう、積極的に学校生活を送ります。

4年2組 石原杏菜

今年、高校生活最後の1年となります。今思えば、3年間充実した学校生活を送ることができました。毎年行事もあればテストもあり、悪戦苦闘にしながらも一つ一つやり遂げ、次のステップへと進むことができ、また、友達と協力し合って困難を乗り越えられました。そして、ラスト1年間。自分はどう過ごしていけば自信をもって卒業できるか考えました。4年生は来年から一人一人がさまざまな道へ歩いていきます。私は就職の道を選び、準備を進めています。今はアルバイトや自動車学校に通いながら学校に来ています。それにより、忙しさはやはり昨年より大幅に変わっています。ですが、免許の取得は今後の自分には必要不可欠なものなので頑張っています。学校生活で大事なものは、どんなに忙しくても休まず出席をして、しっかりと授業に参加するということです。私を含め、他の生徒にも同じです。まずはそこから意識したいです。元気に学校へ登校し、活躍できる場面は多くはないですが、自分の決められた仕事や生徒会の仕事など、自分のために、また周りの友達や先生のために行き、メリハリをつけた生活を送りたいです。私はよく先生方からの仕事を頼まれることが多く、最後まで責任をもってやり遂げてきました。残り1年間もないですが、これからも、あいさつをしっかりするなど些細なことからはじめ、先生や同級生、後輩からも認められるよう、時間を守ったり、自分に課せられた仕事を忘れずに行ったり、身の回りへの気配りを大事にしたり、視野を広げて学校生活を送りたいと思いました。

## 6 今後の予定

月	日	曜	予定	月	日	曜	予定
7	5	水	期末テスト	7	18	火	スポーツDAY
	6	木	期末テスト		20	木	外部関係機関による模擬面接指導
	7	金	期末テスト		21	金	1学期終業式
	14	金	校内生活体験発表会（代表選考会）	9	1	金	2学期始業式



5 部活動活動報告

バスケットボール部

春季大会 5月20日(土)・6月11日(日)

○予選リーグ

1 試合目 浜松北高校 勝 58-39

○決勝トーナメント

準決勝 静岡中央高校 勝 58-43

決勝 浜名高校 負 84-63

団体メンバー

4年生 加<sup>ダ</sup>・ローレンス/ダ<sup>シバ</sup>・ニコラス

3年生 アリ・ヒベル/戒井ユウキ/サダカ・ウマル/稲葉創吉

2年生 竹ダ・マテウス/伊波ジゴ/キバン・ケント

グアティス・ザキ/シカワ・ジョナス

1年生 テモ・ヒデキ/吉田ブレント・ハリ/ルバヨシ・カイル

マネージャー 金田ミナ/加<sup>ダ</sup>・キヤ

※東海大会 草薙総合運動場 9月10日(日)



バドミントン部

春季大会 5月20日(土)・5月27日(土)

○シングルス 5名参加

1名 優勝 HRN04215 渡辺ブルーノ

1名 5位 HRN04209 竹内悠大

○ダブルス 1ペア参加

3位 HRN03108 平野菜々美

HRN03111 渡邊零巴

全国大会 団体選抜メンバー選出(渡辺ブルーノ)

個人シングルス出場(渡辺ブルーノ)

東海大会 団体(5名)

4年生 伊藤優希/岡林まこと/竹内悠大/

寺田至温/渡辺ブルーノ

※全国大会 小田原アリーナ 8月15日(火)~18日(金)

※東海大会 静岡市中央体育館 9月10日(日)



柔道部

春季大会 5月21日(日)

○男子65kg級 優勝 HRN01114 ヒガ ツヨシ

無差別級 4位 HRN01114 ヒガ ツヨシ

全国大会:団体選抜・個人 / 東海大会:個人

○女子63kg 超級 2位 HRN01115 山本愛美

全国大会:個人 / 東海大会:個人

○女子無差別級 3位

HRN03210 ゴメス ガブリエラ

女子63kg級 3位


HRN03210 ゴメス ガブリエラ

全国大会:団体戦選抜

※全国大会 講道館 8月6日(日)

※東海大会 浜松市武道館 9月10日(日)



<p>陸上部          春季大会 6月10日(土)          ○女子の部          100m 2位 HRN01218 ヨコテ アケミ          200m 1位 HRN01218 ヨコテ アケミ          全国大会: 100m / 200m</p> <p>※全国大会 駒沢陸上競技場          8月10日(木)~13日(日)</p>	
---	--

7 活動記録

<p>入学式 4月7日(金)</p>	<p>新入生歓迎会 4月10日(月)</p>	<p>進路講演会 4月12日(水)</p>
		
<p>生徒総会 5月1日(月)</p>	<p>命の大切さを学ぶ教室 5月15日(月)</p>	<p>スクールロイヤー講座 5月22日(月)</p>
		
<p>遠足 5月26日(金)</p>		<p>交通安全教室 6月5日(月)</p>
		